地域の防災力・減災力を高めるため！
自主防災組織に関する活動が行われています！

南海トラフ巨大地震や大雨による風水害、土砂災害など、地域で災害に対する備える「自主防災組織」に関する活動が行われています！

＜町（高城）自治公民館＞

すでに自主防災組織を結成されている町自治公民館で、７月１３日（日）に防災・減災の研修会が行われました。はじめに防災士でもある私（大津）から、「南海トラフ巨大地震」についての講話、台風による風水害を想定した自主防災に関する「マイ・タイムライン」作成演習を行いました。その後、総務財政課危機管理担当の森係長、日髙主事から、インターネットによる災害情報の収集方法の演習、災害に対する備えについての説明がありました。参加された方々は、防災力・減災力を高めるため真剣に取組まれていました！

＜石河内自治公民館＞

先月の湯屋ヶ坂自治公民館に続き、石河内自治公民館で、自主防災組織に関する勉強会が行われました。総務財政課危機管理担当の森係長、日髙主事から設立に向けた流れや、設立後の防災・減災に向けた設備整備に関する補助金の説明がありました。地理的な条件や地域の現状を含め、どのような自主防災組織を作っていくのか、今後検討を進めるという方向性が話し合われました。

＜木城町内の自主防災組織の設置状況＞

現在、木城町内には８つの自主防災組織が設立されています。

1　川原ごんげん自主防災会（H25）
2　四日市自主防災組織(H29)
3　岩渕自治公民館自主防災組織(R3)
4　重木地区自治会自主防災組織(R5)
5　白木八重自治公民館自主防災組織(R5)
6　高城町公民館自主防災組織(R6)
7　駄留自主防災組織(R6)
8　中之又自主防災組織(R7)

設立された場合には、
防災・減災に関する設備購入に関する町補助金、コミュニティ補助金を受けることができます！

南海トラフ発生「80%程度」
30年以内確率引き上げ
政府調査委

政府の地震調査委員会は15日、マグニチュード（M）8～9程度を想定する南海トラフ巨大地震の30年以内の発生確率を「80%程度」（75～82%）に引き上げた。毎年1月、時間経過を反映して再計算するため。2018～24年は「70～80%」だった。平田直委員長（東京大名誉教授）は定例会会後「いつ起きてもおかしくない。引き続き対策を取ってほしい」と呼びかけた。

本県震度5弱　「1週間注意を」

日本海溝や千島海溝などでの地震も確率が上昇した。活断層では、長岡平野西縁断層帯（新潟県）が「3%以下」のSランク（高い）となった。昨年までは「2%以下」でAランク（やや高い）とされていた。

また平田委員長は1年が経過した能登半島地震に関し「活発な活動が当分継続する。時々大きな地震が発生し、さらに活発になることもある」との見解を公表。「残念なことだが、能登半島の方には耐震化を考慮した新しい街づくりを始めてほしい」と話した。

見解では、M6級の地震が繰り返し起きており「（こうした活動は）日本ではこれまでに観測されたことはない。いつまで続くのかなど見通すことが難しい」と指摘。その上で「周辺には影響を受けた活断層があることに留意が必要」とした。

今こそ　地域の力「地域力」を高めよう！

地域の防災力・減災力

地震や風水害などが発生した場合、交通や情報が遮断されるのが被災地の現状です。地震震災によって家屋倒壊により「即死」状態の方がおられた一方、圧迫状態（生き埋めや閉じ込められ等）が長時間続き死亡された方もおられ、いち早く救助することが重要だったということです。また、被災後の被災状況の把握や救援物資の配給などをいち早く進めるためにも自治公民館単位での活動が重要となります。できるだけ多くの人数を確保し、お互いに協働していく仕組みが必要です。すでに「自主防災隊」が編成されてる自治公民館もあり、拡充が望まれます。今こそ自治公民館で一緒に準備を進めましょう！

地域活動の充実に向けて！

先月もお知らせしましたが・・・・

本年度から、地域サポーターがスタートしました。中学生、高校生、大学生に登録してもらい、地域での活動情報を提供・参加を募るとともに、参加したサポーターの所属学校に「活動証明書」をお送りします。地域活動において「若い力」に加わってもらうことで、活動が充実していくことを期待しております。

新たに九州医療科学大学から７名、高鍋高校から２名の登録がありました！活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

地域サポーター仮登録フォーム　→

サマーワークショップ準備中！

本年度初めて、みどりの杜木城学園の６年生、８年生が、公民館を拠点とした活動に挑戦します！地域の安全、防災・減災について、現場で体験します。この取組には、各種組織・団体の方々に加え、地域サポーターの九州医療科学大学の生徒さんにも協力していただきます！次回報告いたします！

自治公民館通信担当　　自治公民館活性化支援員　　大　津　　新

これから予想される大規模災害に備え、自治公民館活動で地域の「絆」を深めよう！今こそ、「防災」「減災」「防犯」「福祉」などに対する「地域力」を高めよう！